

# 自然と人間を むすぶ 全集・シリーズ案内

## 日本の食生活全集

全50巻・各都道府県別編集  
A5判・上製

●各二九〇〇円/揃価一四五〇〇円  
その地の自然と暮らしの積み重ねに育まれた「食事」のありよう。いま失われつつあるその本来の姿を、各地の古老からの地道な「聞き書き」と再現写真で記録した壮大な食の民俗誌。

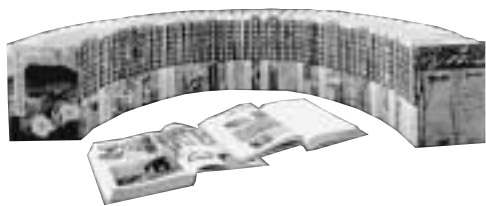
●日本の食の原形を記録：大正末期から昭和初期まで、戦争による混乱、戦後の洋風化を巻々以前の食生活を記録。

●各都道府県を風土、生業の違いから、いくつかの食文化圏に分けて記録。

●四季折々、朝昼晩の献立、購れ食、行事食、薬効のある食べ物、救済食まで記録。

## 日本の食生活全集

Windows 3.1以上対応 全1枚  
●定価120,000円



## 安藤昌益全集

◆毎日出版文化賞・物集索引賞受賞作品  
安藤昌益研究会編 A5判 上製箱入  
揃価一五五〇〇円

安藤昌益は、一七〇三(元禄一〇)年、現在の秋田県大館市二井田に生まれた。医学を修め、医業を生業としたが、人体の歪みを見つめるその視線は、社会、環境の歪みへと広がり、独自の思想を形成。それは、当時の封建体制のみならず、孔子、孟子、孫子ら先哲の教え、仏教思想などを戦闘的に批判。自然と人間の調和を基本とした、万人平等の「コトニ」を構想するという、日本思想史上破格なもの。その現存する著作を集成大成、底本を忠実に復刻した影印版、さらに全文書下し、現代語訳、注解、解説を付す。

全23冊

- 現代語訳編 ①～⑬の稿本自然真道⑩⑪⑫ 道員伝⑬刊本自然真道
- 資料編 ⑭～⑳ 医学関係資料、自然真道関係ほか
- 復刻編・影印版 ㉑～㉓ 稿本自然真道⑩⑪⑫の稿本、道員伝
- 別巻 安藤昌益典(著者年譜、年譜、用語索引(上))

各4200円/6200円



## 江戸時代人づくり風土記

全50巻・B5判 自然と人間が活発に交流し、地域の教育力が発揮され、独自の産業・生活・文化を作り上げた江戸時代。その営みを、地域開発、町づくり、自治、教育、福祉、学芸、民俗など多様な分野ごとに発掘する郷土史読本。

監修 会田雄次・大石慎三郎・他  
各道府県版 3500円/4500円  
特別編集版 東京版「大江戸万華鏡」  
●CD付100000円、沖縄版●CD付70000円、大阪版「大阪の歴史力」100000円

全50巻揃価225000円

## 索引巻

近世日本の地域づくり  
2000のテーマ  
全集索引の常識を破る  
読んで楽しい探究事典

第50巻 環境、福祉、教育など現代の課題にそって江戸時代の魅力・2000項目を解説し、本全集・都道府県版の関連記事を含め  
●50000円

## 講座 食の文化

全7巻

監修 石毛直道 国立民族学博物館館長

発行(財)味の素 食の文化センター  
●発売 農文協 菊判・上製、各巻平均四〇〇頁・カラ124頁、定価各六八〇〇円、揃価四七六〇〇円(税込)  
作る・食べる・売る・楽しむ「日常茶飯事」の文化をあらゆる角度から解剖。人間の食の豊かさを、多様性を、様々な角度からの学際的研究で明らかにする。



「食」をトータルな人間の学として体系化する研究集団の先駆的営為。集う研究者、二〇分野二二〇余名、「食の文化フォーラム」十六年にわたる学際的研究の成果を、最新の到達水準で編成し、食文化の構築を目指す。

- ① 人類の食文化 吉田集而編
- ② 日本の食事文化 熊倉功夫編
- ③ 調理とたべもの 杉田浩一編
- ④ 家庭の食事空間 山口昌伴編
- ⑤ 食の情報化 井上忠司編
- ⑥ 食の思想と行動 豊川裕之編
- ⑦ 食のゆくえ

田村眞八郎、井上如編

## 明治農書全集

全13巻、編集 古島敏雄・川田信一郎・熊沢善久雄・須々田黎吉、A5判、上製・箱入  
●揃価70000円 江戸から明治、近世から近代へと移るなかで農業はどのように動いたか。老農と近代農学者との論争・協力を通じて築き上げた明治農業を原点到点のばり見詰め直す。



- 1 稲作 林道里「稲作新書」横井時敏「重要作物 稲米栽培法」次谷常明「米作新書」他 45000円
- 2 稲作 一般 森田三郎「米作改良法」稲澤次平「稲作改良法」稲澤次平「稲作改良法」稲澤次平「稲作改良法」他 45000円
- 3 稲作 鈴木良平「米作法講話」池川次太郎「米作改良法」他 55000円
- 4 稲作 斎藤司「米作改良新書」小林修三「米作改良法」他 45000円
- 5 稲作 西井良平「米作改良法」他 45000円
- 6 野麥 福羽洋一「野麥栽培法」他 55000円
- 7 果樹 安部龍之輔「日本の蜜柑、松戸産の蜜柑栽培法」他 55000円
- 8 畜産 農務省農務局「平馬善輔飼養法」森田龍之輔「増訂版 養豚新説」中川一徳「訂正増補 養豚法」他 55000円
- 9 養蚕 養蚕 田島光平「養蚕新説」青柳次郎「養蚕」他 55000円
- 10 土壌肥料 小柳洋五郎「菓樹土調和肥料製造法」安部龍之輔「養蚕肥料」他 55000円
- 11 農機 耕田整理 兵庫県「兵庫農具図説」鈴木浦八「改良改良新書」他 55000円
- 12 病害虫・雑草 梅原寛一「田圃害虫出稼新説」益田道一「稲田害虫」他 55000円
- 13 林業 林産 森田三郎「野林業新書」他 55000円

## 日本と世界 農村と都市共存・共生への指針

全27巻 編集代表・今村奈良臣 A5判、丸背  
上製 各三三〇〇円、揃価八六四〇〇円



21世紀を動かす世界の根本問題―農・食・環境を27のテーマで論じた書下ろし全集。貿易・資源・中山間地振興、後継者、食の安全性：国内外の諸問題を根本的に捉える。

- 第1巻 海外農村視察必携
- 第2巻 東アジア農業の展開論
- 第3巻 世界の農産物
- 第4巻 土地を活かす英知と政策
- 第5巻 農業の継承と参入
- 第6巻 先進国 家族経営の発展戦略
- 第7巻 フランス山間地農業の新展開
- 第8巻 世界の農業支援システム
- 第9巻 地域資源の保全と創造
- 第10巻 水資源の枯渇と配分
- 第11巻 開発援助の光と影
- 第12巻 農協改革の新視点
- 第13巻 消費者運動のめざす食と農
- 第14巻 E.Cの農政改革に学ぶ
- 第15巻 21世紀社会主義農業の教訓
- 第16巻 世界の環境保全型農業
- 第17巻 バイオテクノロジーの農業哲学
- 第18巻 世界は飢えるか
- 第19巻 食料輸入大国の苦難
- 第20巻 変容する農産物流通システム
- 第21巻 WTO体制下の食料農業戦略
- 第22巻 農産物の表裏と底流
- 第23巻 欧米の農業政策
- 第24巻 アジア農業の発展と日本
- 第25巻 森林資源の利用と再生
- 第26巻 世界の食品安全基準
- 第27巻 論争・近未来の日本農業

## 農文協

●食と農の4大データベース搭載！〈ルーラル電子図書館〉会員募集中！：http://lib.ruralnet.or.jp/

〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1

農業書センター

財農文協図書館

TEL.03-3585-1141  
FAX.03-3589-1387

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3 JAビル地下一階  
TEL.03-3245-7647 FAX.03-3270-2800

〒177-0054 東京都練馬区立野町15-45  
TEL.03-3928-7440

(2002年6月現在 価格は税込)